# 婦人新報

十二月號

第二百二十一號

婦人新報第二百二十一號目次


矢島會頭の光榮　編者
京都より　矢島楫子
奉祝時計臺　記者
人道と酒害　ストーザ博士
廢娼問題の歸趣　松本雲舟
廢娼の後　油谷治郎七
接待所より　記者
なでしこ　安中花子
はたらき
　神戸の艦隊歡迎會　城のぶ子
　惠まれたる九州部會　守屋東子
　第三回九州部會記錄
各地通信
　本部、東京麴町、下ノ關、北海道札幌、原市、
英文　杉本鈴子


基督教婦人矯風會



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

産婦人科
小児科
女醫
鷲山改め
吉岡彌生
△院長診療　宅診午前　往診午後
△醫員診察　午後
産室及病室の設けあり随時入院の需めに應ず
東京市麹町區飯田町
四丁目三十一番地
東京至誠病院
電話番町二二五七番

社告

◎婦人新報定價(郵税共)
一部(前金)　金六錢
六部(前金)　金三十五錢
十二部(前金)　金七十錢
(郵券代用一割増)
◎廣告料
一行(五號活字)　金十錢
編輯及事務所　赤坂區溜池町三番地　婦人矯風會事務所　電話新橋一〇三六

大正四年十一月廿六日印刷
大正四年十一月廿八日發行
發行兼印刷人　矢島倶
編輯人　高原孝
發行所　婦人新報社
東京赤坂區溜池町三番地　婦人矯風會事務所
印刷所　丸利印刷所
東京神田鎌倉河岸

No. 221. DECEMBER. 1915.

# WOMAN'S HERALD.

## CONTENTS.

The Honor to Madam Yajima..................The Editor.
A Message from Kyoto........................Madam Yajima.
The Clock Platform..........................A Contributor.
Alcoholic Poison.............................Dr. Sturge.
Future of the Abolition Problem... Mr. U. Matsumoto.
When Abolition has been Accomplished—then what?
..........................................Mr. G. Aburatani.
The First Booth in Kyoto..................A Contributor.
A Caricature..............................Miss Hana Annaka.
Activities:—
The Entertainment to Sailors, by the Kobe Branch.
..........................................Miss Nobu Jo.
Great Success of the Kyushu Convention.
..........................................Miss Azuma Moriya.
Minutes of the Third Kyushu Convention.
Reports:—
Headquarters. Kojimachi. Shimonoseki. Sapporo.
Hachiohi.
English Department........................Mrs. Etsu Sugimoto.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 3, Tameikemachi, Akasaka, Tokyo.



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 矢島會頭の光榮

我が基督敎婦人矯風會々頭矢島楫子刀自は、今回の御大典に當り勳六等寳冠章を授けられました。殆ど五十年に近い刀自の公生涯は、全く神と人とに捧げられたるもので米國がウ井ラード女史に寄するに無冠の女王を以てした如く、我が基督敎婦人界も刀自を以て、無冠の女王と仰いで居りました。その曲折に富んだ長い歷史は、敎育と社會矯風事業とを以て經緯を成せる眞に稀代の寳物であります。敍勳の畏こき御沙汰に、その內容の溢るゝを見る、刀自の如きは稀れでありませう。此處に矯風會員及び本紙の讀者一同を代表して、謹んでお喜びを申し述べます。

編者

# 京都より

矢島楫子

○

十一月八日は私東京を出かけた日です。その日は月曜、事務所に於て麹町支部の委員會、並に婦人新報の發送、勿論印刷は出來て居ましたが、前日曜は大姉藤井夫人は救世軍に入隊式と申わけにて、萬端顧るの暇なしとは、實に旺んなりと云つて不足なし。芽出たし〳〵私は大よろこび、さはさりながら月刊發送日に委員會最中に電話で依賴し來る事柄は、家庭製作品獎勵會より、小旗ひろめ日延べ申込願を矯風會に賴まれ、餘儀なく、藤井姉凡てを止めて警察署廳に飛で行くなど、思ひの外の多用にて、私の發途もとう〳〵八日夜行九時出發と致し、靜に漸行翌九日午前十時過京都に安着、直に今出川同志社女學校平安寮と申方に投宿、續いて參られし麹町支部會員長谷川姉を迎へました。

○

依て九日午後長谷川姉と相携へて、豫て用意の傳道館の傍らに設けられたる矯風會の無料接待所を訪ひました。同所は博覽會と向ふ合せの、疏水を中間にしたる所に設けられてあり、その日は來客に無料接待をせる外、五錢の紅茶、同額の辨當を供給して居りました。私共もこれを購ひて、終日働らき、篠突く雨を犯して夜半に歸り、靜かなる平安寮に安き眠りを貪りつつも、先きに見たる傳道館や無料接待所等の事業の、いかに有り難き事なるかをつく〴〵夢まぼろしに小夜ふけて、しのゝめあくなる程に、御祝典の當日なる十





Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

日の朝となり、寮舍の中央より大音にて、お芽出たうく\、萬歳く\の聲、四方八方に朝日と共に立のぼりきのふの雨はどこへやら、うらゝかなる大正豐紅十一月十日となりまして、お互にお芽出う存じます。京の都ばかりではありません、嬉しき時は來にけり。其日の午前中に女學校に奉祝會ありて、男學校の萬歳會には御所の御祝砲を合圖に同志社一同の上下擧りて、廣き庭に於て萬歳三唱、了りて靜かに思ひく\の居所に歸り、其の日を深く守るといふことにて、疏水のかかりの方々は、其方に參らるゝにつき、私や長谷川姉も參りて、其日は少し働き人のまねを致して見ても、餘り上手に出來さうも無いので、荷物預りの札持人となりまして、掛員の手傳ひをしましても、矢張り上手に出來ません。尙感慨は一層深くなりました。

○

翌十一日は同志社の廣場に於て、同國信徒の祝賀會を開き、十二日は同大學校創設四十年記念と御下賜金拜受式と申すので、凡一萬位の盛會、實に有益なる事と存じます。十三日十四日は全國慈善協會の大會に慈愛館の代表者として出席致し、同十四日傳道館に於て全國婦人大會にも出席、傳道館と云ひ、同志社の二大會と云ひ、來賓として出席の榮を得ました事を、生前のこよなき歡びと感謝致して居ります。この數日の中に一つのめづらしき事に出あひました。

一、金貳百圓也　クリテントン慈愛館に

と、實に思ひがけなき事にて、驚くの外はありませんが、開け行く御代のしるしと感謝すると共に、妹等の責めの重きを考へ、且つ基督教の精神は英米文明國の人のみに與へられたるものにあらず、等しく人に有するものにして、この心を勵みておしひろめ度きものと存じます。勿論無名氏にあれば誰人か分りませんが、日本婦人に相違なき事丈けは承知致して居ります。夫れから十六日夕から神戸に參り、長谷川姉を東京矯風會員の名代として(心に定め)一昨日より神戸にて擧行せらるゝ別項「はたらき」の部に記載の順序のもとに、私もその盛會に出席して、國家の基ゐなる海軍々人招待



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

會に參會、頗る愉快に存じました。來賓數は昨三千人餘、今日は倘多數にして、大會堂にはとても入りかね屋上を双席に分ちて饗應させて居りました。この催しは神戸に於ける靑年會、並に神戸婦人矯風會の活動にて、祝會中の最良なる仕方と存じ、該活動を悦びます。唯今私は其場所から歸り、直に一書を記して、御一同と喜びを頒ちたいと存じてかくは。（十一月十八日午後）

## 奉祝時計臺

### 京都洋服裁縫業者の美しき企て

京都の洋服裁縫業の仲間では、御大典を祝ふ爲に、種々な相談を起しましたが、結局御大典は謹嚴に奉祝すべきものであつて、藝娼妓に戯むれ、酒に溺るゝ如き事はあるまじき事と一決し、其等に用ふべき金子を擧げて、淸い記念物を作らんといふ事になり、遂に時計臺を京都動物園に寄贈、建立する事になりました。初めに斯かる淸い企をした此會も、一般の京都人士の人氣が極端に假裝行列に動かされた結果、百個の屋臺を出さんと回狀まで出したといふ事でしたが、遂に我等は初めに於てすでによき記念物を作り、充分奉祝したる事故今更此必要なしといふ意見の下に、屋臺を出し、裝假して踊りまはる計畫は中止されました。洋服業者の美はしい奉祝の一端を記者は心から喜んで、諸姉に御報告します。

## 雜詠

北見くら子

### サマリアの女（約翰傳四章）

魂醒めて生命の水に息づきし女走りぬ猛者の如くに

ハハハゲルジムの山に拜すと君言ひし主は身に近くましまのせるかも

### 姦淫の女（約翰傳八章）

淪落の女そのゝき震ひつゝ主の審判待つ心しほらし

行きて又犯す勿れのやさ言に魂甦る橄欖の麓

### 放蕩息子（路加傳十五章）

醒めよ子等生は短く世に永遠に君故に泣く母ありと知るや



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 人道と酒害

ストーヂ博士

▲大正の眞意義

此内に何人基督教信者があるか、また佛教信者があるか私は知らぬ。然し此處に掲げてある大西郷の『我天愛人』の書を御覽になるならば、必ず我等の社會から酒類の如きものは全廢せねばならぬといふ事を承知さるゝ事と信ずる。婦人矯風會は御大典に際して公會の席上に藝妓を用ひぬやうにといふ決議文をなされたといふ事である。藝妓の樣な人を誘惑するものは大正の御世に出すべきものではない。此大正の御世は正義の行はるゝ御代とせねばならぬ。此大正の御代をして其名の如くにするには、唯御卽位式に於てのみではない、永遠に公會の席上に藝妓を出さぬやうにする必要がある。而して初めて其義を表はす事が出來るのである。

▲警告としての告白

實は今夜私は諸君に告白せねばならぬ事がある。東京で私の爲に會が催された。司會者が米國大統領の爲に祝盃をあげられた。私は日本の陛下の爲に祝盃をあげ心から祝した。然し私は其酒を飮む事は私には出來なかつたが、此一事は實に私の良心に責められやましく感じた次第でありました。何となれば健康を害すの酒類を用ひて祝盃をあぐるといふ事は、爲まじき事であつたのであります。清淨なる水、或は炭酸水を用ひて祝すべきでありませう。私は今諸君に警告と



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

して此告白する次第であります。私は酒害につきてお話をする前に一つの面白い話を申上たい。或る非常に酒好きのトリックといふ男に水を顕微鏡で見せ多數の蟲が居ることを實見させた。其水の中に酒精を入れた處が動いて居つた蟲が死んでしまうた。斯くの如く酒の害は恐るべきものであると敎へた處、其男は以後決して酒を入れない水を用ひなかつたといふ一例話であるが、此人の如く話を誤まつてとつて頂きたくないと思ふのである。

## ▲身體の將は靈

人間の身體といふものは妙なものである。一つであるか、多數のもの丶集合體であるかわからない。事實細胞の集合であらう。此人體の内に流れて居る血液の内、白血球は丁度帝國に於ける軍隊の様なものである白血球の仕事は、人間の身體に入る處の毒を取り圍みて防ぐ位置に居る。赤血球は物を運搬する交通機關の如きものであつて、炭酸瓦斯を運ぶ處の重任を有して居る。此他身體にある諸機能はそれ〴〵大切なる任務をつくして居る。是等のもの丶外に人間には靈といふものがある。然して此靈は實に我等の身體の將である靈こそは自分の身體を征伏し得る力である。我等の細胞は日々新鮮に變化してゆく。何年かの後には全く變つたものとなるのである。斯く身はかはるが變らぬ記憶がある。それは卽ち我等の身體の内に變らぬものがある故である。卽ち靈がある故である。細胞や血球は變るが靈は變らぬ。

## ▲身體に及ぼす酒害

身體に酒を使用したときに其影響が如何であらうか胃は口より酒類が入り來つたとき、若し言葉を語らしめるとするならば、必ず激昂して怒るであらう。「何故斯かる食物を自分に口は送つて寄したのであらう。自分は血液筋肉其他の爲に肉を要し、米を必要とこそすれ、斯くの如く不消化なる酒の如きものは何等用をなさぬのみならず、自分を苦しめ害する、」といふであら

う。一度胃に入つた酒は吸收されて血液に混じ、血にまた惡影響を與へる。從つて傳染病に罹りやすき體質となり、內臟中の心臟、肝臟其他のものは皆硬化性になる。腦はまた其害をうける。從つて全身の神經は犯される。考へがまとまらなくなる。舌が不自由になる人の益になる思慮ある話が出來なくなる。思慮が淺薄になる。全身が弱る。又震ふやうになる。步行が充分に出來ぬ。是等は既に人のよく知る處である。斯くの如く酒を飮めば腦の感覺が鈍る。故に又全身を支配する力が鈍る。自然に常規を逸する「爲政淸明」と大久保甲東公が玆に書されたものは、實に明言である。酒を飮んでは決して淸明でなくなるのである。

### ▲國家家庭を安全になさん爲

昨日の新聞に下ノ關の郵便局長が酒と不義なる樂により公金を費消せる結果引致せられた記事が記載されて居つた。卽ち淸明を缺いた結果である。

酒を飮めば克己心が失はれる。且其人の性質を變ずる。アイルランド人は戰を好む人種である、從つて酒を飮めば自然喧嘩をする。常に人よしと言はるゝ人は飮酒すると笑ふ。アメリカ印度人は千萬人から居るが一般に殺伐である。又非常に耻づべき行をする。實に危險である、安全を缺く故に、是等印度人には酒を賣る事を禁じてある。米國で南部は全然禁酒州となつて居る。一軒の酒屋さへもない。これは其等の人々を守ると同時に、米人の家庭を一層安全强固なるものにせん爲に、酒類の販賣を禁じ、飮酒を禁じてあるのである。

### ▲禁酒の好結果

今日酸鼻を極めて居る歐洲戰爭の初めに於て、露は「ウオツカ」を禁じた。數百萬弗の政府の收入といふものはこの爲に失はれたのであつた。然し半面に於ては國人の貯金が非常に增加した。其割合は戰時なるにもかゝはらず、平時よりも一層多額を貯金し得るに至つたのである。猶且國內に於ける勞働の能率が、今迄

よりも多く、實に四倍に登つたのである。卽ち四人でやつた仕事が、同時間に一人で出來るやうになつたのである。國民に對し政府としてなすべき事は、政府の財力は減じても、國民を弱わらせるやうな事があつてはならない。國民を健全にしてゆく事が第一義である世は決して金ではない、人物がなければ何事も出來るものではないのである。露西亞のみではない。佛國に於ても惡酒は禁じたのである。軍人が卒先して實行したのである。英國もまだ禁酒令は布かれないが、ジョージ五世が宣言されて、禁酒の模範を示し給ふたのである。米國に於ては實に禁酒運動が旺なものである。米國民一億萬人の內五千萬人卽其半數は全然禁酒して居る。ワシントン、オレゴン、ネバダ、カリホルニヤの四州に於ては、本年人民に謀つて禁酒州となすべきか否かを投票した、加州をのぞく三州は大多數を以て禁酒州に決したのである。本年十二月三十日を以て此三州は禁酒州となるのである。加州の差は實に僅かであつたから、次回に於ては必ず禁酒州となる事を信ずるものである。

## ▲「我天愛人」の精神を以て

米國に於て禁酒後の成績は非常に顯著である。英も露も佛も皆同じである。然るに人はなぜ身心に害を與へ、國家を危くする酒類を撲滅しないのであらうか。昔は酒は神聖なものとした。ユダヤ人は、神を祀るに酒を用ひた。日本でも同じやうな事がある。世界に於ての禁酒の運動は實に旺んであつて、嘗てない位である。酒は人類の敵である、害毒である、酒を禁ずる事は諸君のなすべき事である。諸君は此點を心に深くとめて、何等宗派の異なるを問はず、斯かる害毒に向つて進んで行かねばならぬのである。我等人類を傷う如きものは亡ぼさねばならぬ。大西鄕の我天愛人此精神があれば、必ず實行され得るのである。

（こは博士が十月二十七日鹿兒島市鶴鳴館樓上に於て九州部會の演説會の席上に於てなされたるもの。宮崎牧師通譯の勞を取らる。文責記者にあり）

# 廢娼問題の歸趣

## 公娼から私娼へ

松本雲舟

### △罪惡と醜業

醜業婦は古く創世紀の時代にもあつた。人間の罪惡に咲いた花である。これを撲滅することは、人間の罪惡を全く洗淨してからでないと不可能である。若し淺見な廢娼論者があつて、公娼制度さへ廢止すれば理想鄕が實現するやうに思ふのは極めて早まつた考である。さう容易くお誂へ通りにはゆかない。公娼がなくなつても、人間に罪惡のある限り、醜業は濱の眞砂のやうに盡くるものでない。卽ち醜業の絶ゆる時は、監獄のなくなる時と同時であるといつて善い。其故に實際問題としては、醜業をいかなる方法にて默許するか、又出來るだけ之れを尠なくするにはどうしたら善いか、又醜業に從事する婦人を救濟する方法如何が問題である

婦人醜業問題は人間の罪惡の續く限り、幾世紀も未解決に終るであらう。それが未解決に居ればこそ、矯風運動が常に必要なのである。

### △公娼と私娼

私娼は取締に不便である。又花柳病を傳播し易い。其故に公娼より前に、私娼を廢止せよといふものがある。これは公娼と私娼との性質を全く辨へぬ謬見である。極端にいへば、公娼は廢止出來るが、私娼は廢止することが出來ぬ。唯これを取締ることが出來るのみである。公娼は制度上の問題であつて、私娼は婦人の精神的墮落か、生活に窮迫せる結果、自由意志でやつてゐる醜業である。制度は廢止が出來るが、人間の自由意志は廢止することが出來ない。其故に現在の廢娼



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

運動が、公娼廢止に全力を傾注してゐるは尤もな次第である。制度としての公娼が廢止されてからでないと私娼の取締や救濟問題には手を伸ばすことが出來ない。

## △公娼廢止の理由

何故公娼を廢止せねばならぬか、これは既に言ひ古された題目であるが、約言すれば婦人貞操の賣買を國家が公けに認めてやらして置くのは、國家の性質上不都合だといふのである。人身賣買卽ち婦人の自由を束縛して奴隷制度を公然許すのは、國家の品位上恥辱であるといふのである。又公娼となつてゐる婦人其者に就て言へば、彼等が德川時代からの惡習である斯る制度の下に、殘忍な又悲哀な生活を送つてゐて、自由尊重の文明の恩澤に浴するとの出來ぬのは、いかにも氣の毒に堪へぬといふのである。同じ醜業を營むにしても、自由意志でこれをやり、いやな時には止めることが出來たら、彼等にとりてどんなに幸福だらうと言ふのである。これは實際上から見れば現在の公娼制度は衰頽して將に滅びんとしてゐる。之れは彼等が時勢に適合せぬ舊慣を墨守してゐるので、遊客が益々減少するからである。公娼は衰へ私娼は益々盛んになるの傾向は見遁すことの出來ぬ社會現象である。其故公娼は存置されても、又廢止されても、それは私娼とは全く沒交渉であると言つて可い。吉原を初め、各地の娼業者が私娼撲滅を警察や當局者に請願して自己の繁榮を謀らんとするのは、慾深か爺さんが花咲き爺を羨むやうなものである。私娼は社會の要求に適合し、公娼は其要求に適合せぬのである。されば公娼をやつてゐる醜業者は矯風會の廓清運動を待たずとも、自ら時勢の非なるを悟つて其の醜業を止むべき時機が到來したのである。政府とてこんな社會の要求しない制度を存置しておく必要はなからう。

## △私娼と生活問題

生活が出來ぬので娘を娼妓に賣るといふことが、在來の型であるとすれば、勿論公娼も生活問題の土臺の





Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

上に立つのである。併し一度借りた金を返へさぬ内は五年でも十年でも醜業を止めることが出來ぬといふことになると、既に生活問題を離れて、人權蹂躪問題に喰ひ込んでゐるのである。併し之れが他から强制された純然たる私娼であるならば、生活問題に終始するといつて善い。其故に婦人の生活問題さへ解決すれば、自然これを減少し局限することが出來るのである。婦人に職業を與ふること、卽ち生活しうるだけの最低賃金のとれる職業を與ふることに依つて、私娼の大部分を救濟することが出來る。自分が好んで醜業を營む女は極めて尠ない。飢えて死するか、操を賣るかといふ窮状に到着して始めて醜業を營むのである。其故に婦人全體に職業と生活賃金を與ふることは根本的必要である。其れ以上醜業が好きで營む者や、又虛榮に費す金を得んがために醜業を營む者はどし／＼法律で取締るやうにすれば善い。されば公娼といふ奴隷制度が全滅された後に來る問題は、益々商業化してゆく私娼をいかにして取締り又救濟すべきかである。これは實に人間の罪惡と生活問題に根底を有する故に、社會全體の改善進步しない限りは、いつまでも未解決に留まるであらう。併しそれだけに公娼廢止の時よりも尙一層の興味がある所以である。現在の日本が、早く公娼廢止といふやうな極めて解り切つた容易い問題の時代を通り越して、私娼救濟といふもつと人生の根本生活に觸れた問題を論議するやうになりたいものである。

# 廢娼の後

油谷次郎七

## △丁抹の實例

英國では千八百八十四年、諾威は千八百八十八年、丁抹は千九百六年に於て公娼制度を全廢した結果、何れも人道上風儀上並びに衞生上良成績を納めてゐます。此外アメリカの或州でも實行しつゝありますが、



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

今廢娼後の成績最もよき丁抹の首都コッペンハーゲンの事情を少しく述べて參考に致しませう。コ市は人口五十萬、海岸の船つき場で水夫等の出入が劇しく、佛國風の輸入が盛んな北歐の亞典とさへ言はれる繁華な都會である。元此市には集娼と散娼の兩方あつたが千九百六年三月三十日から全廢された。

### △廢娼後の注意

全廢後如何なる制度にしたかと申せば(一)コ市の若い女の最低賃金一週間七クローネー(貳圓八十錢)として獨身の女子が此以上の收入なくうろ〳〵してゐると此れを職業紹介所に送り、肯せぬものは牢に打込むと云ふ風にして、先づ無職浮浪の女子を監督する(二)袖を引くとか其他男子を誘惑する女、これを養ふ者等は總べて罰せられる(三)男女とも花柳病を他人に傳染させたる場合は罰せられ、強制的に市立病院に入院せしめられ、損害賠償を要求せられる(四)一年四萬クロネー(一萬六千圓)を費して男女十二人の市醫を各區に分置し男女とも此病者は無料にて治療してくれる。入院もさせるが全治までは自由にさせない。(五)內密に開業醫に行くのは勝手ですが醫者は患者の名を秘して衞生局に屆けねばならない。

### △保護會の設置

かくして公娼は全く認許せず、花柳病者は隔離され官醫制度で治療する。此結果は花柳病者も減じ密娼の數も公娼を許してゐる所よりは減じたのです。もとより斯かる制度のみで廢娼後の患ひなしとは申せませぬ而し公娼廢止に反對する人々の憂ひとする衞生上の事私娼の扈跋等は丁抹の實例に徵して杞憂である事が判ります。尙道德上からも貞操の觀念を堅くして日本の昔の道德だつた親の爲めなら身を賣ると云ふ樣な思想は打破し、婦人がもつと〳〵自覺して強くならなければなりません。經濟上からも商店會社の薄給の女事務員カフェーの女、工女等は收入の少ない爲め賣淫に向つて進んでゆく傾向があります。ですから米國あた



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

りでは若い婦人の保護會と云ふ様なものが組織されて彼等に清き娛樂を與ふる事に盡されて居り且生活上不足なきや否や給金の上に注意を拂つて居ります。

## 墮落少女の救濟

前述のコッペンハーゲン市が公娼を全廢するに至つたのも實に同市の婦人團體が主唱したからでありました我國でも矢島女史が公娼廢止を叫ばれて居りますがかゝる事が多く婦人の自覺により成就されるのは注意すべき事です。何れにしても、公娼全廢の結果は總ての方面に良いのであるが、廢された娼妓の後始末をどうするかと云へば、彼等の總てが娼妓をせねば食へぬと云ふ事はない、此點は憂ふるに足りないと思ひますが要するに公娼は全廢すべきもので、又され得べきものであると信じます。

## ●之でも踊りは止めぬか

―と婦風會から突き込む―

大典奉祝熱狂の極頃日連夜實に醜態見るに忍びざるものあり、心ある者の惡感を買ひ居る折柄今回之れが急先鋒として京都基督教婦人矯風會代表者守屋東子、高森幽香子、京都基督教牧師代表者日高善一、西尾幸太郎、京都廓清會代表者松浦有志太郎、原田助氏等は左の上申書を一木內相に呈し尙大森知事、高田文相にも提出せり

謹而奉呈鄙書仕候陳者曠古の御大典も萬事滯りなく御進行の段　陛下の赤子として誠に御同慶至極と奉存候御儀式の御次第を拜承仕候に就ても關係諸公の御心勞の程御察申上候次第に御座候然る處我京都市に於ては去十五日以來御大典奉祝と稱し未だ曾て見ざる光景を呈するに至りし事意外千萬に奉存候國民一統歡喜措く能はざるの秋市民が熱心に祝意を表彰するは誠に當然の義と今日迄傍觀致居候へ共其狂態日一日と甚しく益々醜陋の狀を加へ今や默視し能はざる事と相成申候數日來連夜市中の重なる街衢に滿つる雲霞の如き群衆の大中は女裝せる男子男裝せる女子にして其服裝も又到底公衆の面前に露はすに堪へざるものに有之妙齡の子女は行々酒瓶を仰ひで行路の人士を不意に擁し卑陋の態を演じ或は男子にして路傍に佇立せる子女に惡戲を試むる如き千態萬狀眞に百鬼夜行の有樣と申すべく從つて節を棄り操を汚すの青年男女少からざる趣旣に新聞紙上にも散見する處に御座候甚しきに至りては小學兒童をも誘致して之に加はらしむるを見ること少からず候生等之を實見して實に戰慄の感に堪へず候生等が　陛下に對し奉る至誠の情と歡天喜地の心とに至りては決して人後に落ちざるを信じ居申候然も風紀を壞亂して罪惡を增長するが如き行動を以て此神聖なる御大典を祝せんとするに至りては衷心恐懼措く能はざる處に御座候乎に閣下の御監督に依り此際斷乎たる處置を取り相當の制裁を加へられ節序あり統一ある方法に因て奉祝の誠意を表するやう御取締の程千祈萬禱の至りに堪へず候冀くば過言を容れ生等の微衷御採用被下度候　恐惶敬白

# 接待所より

記者

○京電で博覧會前に下車し、疏水にそうて左に行くと白壁の建物即ちキリスト敎御大典記念傳道館及婦人矯風會無料接待所があります。十一月三日に開館式を擧行して、後廿八日まで博覧會見物の人々、及び御大典拜觀に入洛した地方人に、神の福音と無料の接待とをなさん爲、京都の會員は勿論、東京からもまた時時は地方支部よりも應援に見ゆ。平均一日十五名の各敎會婦人會員は、接待所の爲に働かれるので御座います。

○禁酒會及京都醫科大學病理學敎室及び衛生學敎室より借用した酒害に關する標本及び實物を入口の窓に飾つてあります。行き交ふ人の足とゞめて、説明書をよみつゝ酒害をわきまへてすぎ行く事も一方ならぬ傳道の一助で御座います。とりわけミュンヘンのビール心臓の實物は、今更のやうに酒精の害毒を深く〱印象し、「恐ろしいもんやな!」「酒は飲めんは…」などゝ心より語り行く様は、確に益あることで御座います。

○毎日同志社女學校にて辨當其他の準備を整へて小使が運搬して居りますが牧師方に幾分でも滿足な食事を差上たいと思へば、其掛りの人々の苦勞も容易ではありません。夕食は十五錢晝食は辨當もパンもコーヒも五錢均一、それで第一清潔になすので、誰れからも感謝をうけて居ります。一度通りがゝりの人で食べた人は再び來て下さるといふ信用も有ちました。

○團體の休憩も歡迎しますが、小學校、幼稚園が數回あつたのみで一般の人も半ばすぎより追々加はつて來ました。無料と言へば誰れでも這入て下さるかと思ふは間違で、容易にお客を得る事はむづかしきものと、初めておぼえたやうな點も少なくありません。然し續いて傳道館がある爲に自ら用事もあり、感謝すべき働きも出來るといふ風で、朝は十時から夜は十時すぎまで、一同はよく働き、よく語り、樂しく一と月近き日



Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を送つてゐます。
○手荷物預も無料なれば、多勢のものを預かる用意もして置きましたが、やはり思うた程でもなく、廿日間の數が一寸五百ばかりでした。迷子は唯の一人もなく一度奉祝踊の數多通つた夜、案じ顔の母親が「預かつてはありませんか」と尋ねて來られたのみでした。大人の會員で連れに博覧會ではぐれ、また途をまちがへて再び歸つて來られたといふのは折々ありました。
○無料茶として出口にそなへてある茶は、いつも大繁昌、大釜の湯はブツ／＼とよくたぎつて、不自由なくそなへてあります。何しろ疏水前の戸のない建物に一日を接待に過すのは容易の事ではありませんが、よく土地の信者會員の姉妹からは日々助けて下さいます。東京の麹町支部から長谷川姉が殆んど中頃から終りまで御手傳にお出下さつた事、赤坂支部の渡瀬夫人が兩三日、彦根の武田夫人が兩三日の來援は心強く感じました。
○丁度矢島會頭が婦人大會に御出席の爲に御越しになつて、あまり寒い場内に同情され、今年の御誕生日に米國本部のミスゴルトンより送られた金子の内百圓を御寄附下さいましたので、二つの建物は防寒の用意が充分に出來、温かく働く事が出來るやうになりました温さといふものは婦人の德の一つでせう、身も心も温かにして働くときに、初めて神の愛を自分も知り、人にも傳へられます。
○一日傳道館主任の木村敎師の「今東京の慈愛館に誰れが世話して居る、何人收容して居る」等とお尋ねの末、金を貰つて來てあげたというて二百圓の金子を渡して下さつた。唯其金は誰れから出たかといふ事は、敎師は語つて下さらなかつた。此二百圓――實に不思議な金であつたのであります。前夜矢島會頭とせひとも慈愛館の爲に二百圓の金を作らねばならぬとお話しお互に心から祈つて／＼て寢についた其翌日、敎師から與へられたのでありました。出し主は私共は知りません。聞く用もありません。之は神の賜物であります
○京都の町は十六日以後、夜は百鬼夜行といふ有樣の


Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

假裝行列、電車の中も危い位奉祝踊で狂うて居ります。三々五々賛をつくし、變裝して、女も男も酒に醉ひ、足もしどろに町を歩く樣は、曾て見た事のない風俗で御座います。良家の子女さへ出でゝ踊ると新聞にも報せられて居ります。丸山公園は全くそれ等の群集で歩けぬ位、巡査の顔を歌節にあはせてあふぎ立つるといふ始末。

○矯風會廓清會及びキリスト教々師會は、文部、內務の兩大臣及び大森京都府知事に取締に關する親展書を送るに至りました。「奉祝の爲に踊るはよし、されど亂れず踊れ」と新聞紙さへも書いて、あまりなる京都人士の狂態を痛憤して居ります。私共の立場としては今更ながら斯くあることを悲しく思ふのであります私にしても此樣を見て一層「働かう」「しなければならぬ」といふ氣が心の奧深く、根づよく植ゑつけられました。

○斯かる都にあつて靜かに熱心に神の福音を說き、神に歸れと毎夜〳〵人々の心底に叫びつゝ傳道さるゝ其お働きは容易なものではありません。然しすでに千名を越したる決心者改悔者を出したのであります。其中には今夜疏水に入水せんと家出せし夫人や、出獄してゆく可き處なく、あやふく自殺せんとしたる男子、其他樣々なあはれなる迷へる靈が神に歸るたのであります

○假裝行列が入り亂れて傳道所に亂入した夜など、一種言ふべからざる靈は降つて、涙と共に滿堂起立して祈禱した事でありました。傳道館の說敎が終つた後は皆接待所に迎へ茶菓を供してねぎらひ、家路につく事になつて居ます。人通烈しき博覽會の正門前にて、傳道館に人々を誘ふ青年達の働きに對して私共の同情いつも温きコーヒの一杯に表はさるゝのであります。

○近くの石屋の主人タバコヤの主人は、小供が唱へた禁酒唱歌で斷然禁酒した事を、子供は喜んで通知しました。いづくに行つても子供等が忠實なる率直な信仰の働きは、大人の學ばねばならぬ處であります。また今日も接待所で働かねばならぬ責任を持つて居ります一先づこれで筆をとめて。（十一月廿四日認む）



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# なでしこ

安中花子譯

「ちよいと、モレーさん、此方をお向きなさいよ好い話があるのよ。」

「一寸待つて頂戴」モレーは手早く今迄の計算の總計を書き入れて置いてヘレンの方に向き直つた。

「モレーさん、貴方、今しがた此室を通つて行つた人を見たでせう。」

「あの優しい顔をしていらしつた方?」

「私は顔付なんか氣が附きませんでしたがね、何しろあの衣裝が餘り凝つて居たので驚いて仕舞つたの、馬鹿に派手でもなし、あゝいふのをほんとうに金目の掛つた仕度と云ふのでせうね」

「一體あの方はどなた?」モレーは無雜作に問ひ掛けた。

「それを話さうと思つて呼んだのよ、あれが此の頃社中で評判のミス、ミラーなのよ、遂この三月前にウイスコンシンの方の事務長になつたのですが、大した腕利きで貴方や私の四倍も月給を取つてゐるのよ」

「ミス、ミラーつてあの方ですか。何しろ腕の有る方なのでせうね。それでなければそんな善いお金を取りなさる筈もありませんものね。」

「それは左樣ですとも。此社はほんとうにキチ〳〵で各々の腕以上には一錢だつて餘計には拂はないのね私なんか毎週お金を取つて來て先づ下宿代を出してそれから一つ二つ入用の物を買へば、それで後はもうピー〳〵なのですもの、まあ、ほんとうに、若し二圓も丸くお金が殘る樣な事があつたらきつと一晩

中坐り込んで眺めて居る事でせうよ。」
モレーは吐息した。今自分が二圓の金を欲しがつて居る程に、ヘレンもそれ丈けのものを果して要して居るかしらと思つたので。母親の誕生日は二日後に迫つて居るが、其の贈物の爲めに使へる金は一錢も持たなかつたのだ。町に出ればあちらこちらの店には二圓の正札附で美しい美しい肩掛が飾つてある。「夕方緣側にお出なさる時には、どうしても、もうショールが入用なのだけれど」と。
モレーは獨り心にさゝやいた。あの薄桃色のショール、夕雲の色の樣なあれは、紅の頰をした白髮の母親にはどんなにかよく似合ふ事だらうとも思つた。必ずそれを買はうと思つて貯へて置いた二圓は思はぬ時分に狂ひを生じた風呂場の修繕で、跡方もなく消えて仕舞うた。今空いて居る部屋さへ借手が付けばいゝのだが前の人が急に引越して仕舞つたので、廣告して置く隙も無かつた。あそこさへ借せば一と月に十五六圓收入が增す譯だから、大した違ひだが、とこんな事をとつおいつ考へて居る間に、ヘレンは又も口を開いた。
「今日二圓儲ける人があるのよ、貴方知つて居て？今日はミスミラーがいらしつたでせう。いつでも御客樣が來た時にはモードさんが御案內役をする事に定まつて居ますわね。案內する場所がちやんと書いてあるの、そして其の上に十圓札が一枚附いて居るのよ、つまり其の日の入費を拂ふ爲めですわね。モードさんはいつでも、その中からきつと少しづゝはねて自分の懷に入れるの。」
モレーは顏色を變へて驚いた。
「まさか、そんな事をなさりやしないでせう。それは正直な事では無いぢやありませんか。」
「それは左樣かも知れませんが、モードさんは當然の事だと言つて居ますよ。其の位の氣を利かせるのは分り切つた事ですつて、あちらこちらから、二十錢三十錢と頭を刎ねて置くので、二圓位はどんな事をしたつて儲かるさうですよ。」
「驚きましたわね、モードさんは御自分で何と名を付


Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

けるか知りませんが、私はそれは全くのぬすみだと思ひますわ。そして彼の方はきつと何時か一度後悔なさる日があるでせう。ヘレンさん、私未だ用が片付かないのですから御免なさいね。」モレーは再び計算に掛つた。
ヘレンは不精無精に口を結んだ、一時間と默つては居られない娘で、自分の仕事が片付いたが最後、誰かれの差別なく話し掛けるといふ厄介者なのだ。
「課長樣がお部屋で直ぐあなたに御逢ひなさり度いさうです」一心に仕事をして居るモレーの側に來て誰かゞから呼びかけた。
ミス、ネヴヰルーモレー達の課長——は非常に嚴格な婦人で、中々無暗には白い齒は見せぬといふ樣な人であつたから、呼ばれて行く間のモレーの胸は何となくとゞろいた。何時もになく打解けた課長の態度にも、モレーは未だ何だか易からぬ心地で時ならぬ呼出しの用事を氣づかうた。
「市外の事務所に詰めておゐでのミス、ミラーにあなたをお引合せしようと思つてね、」
ほゝゑみ乍ら課長は徐ろに口を開いた、
「ミス、ミラー、これがミスモレーです。今日の御案内役ですから何でも御遠慮なく。」今度はモレーに向つて、
「たつた一日しか此處にいらつしやる事が御出來にならないのですから、よく氣を附けて、一番面白さうな處へ御案内して下さいよ。これが見物する場所の控ですがね。萬事あなたの考でよくして下さい、一番初めに社の中をすつかり御目に掛けてね」
新しい十圓札の挾んであるノートを渡した。
廣い印刷會社を隈なく見物した後二人は門の外に出た此處でモレーは恐る〳〵
「あのう誠に濟みませんが、私一寸家に寄つて着物を着變へて參り度いのですが、暫く御待ち下さる事が出來ませうか。公園などに參りますのに此の風では餘りひどう御座いますから。」と言つた。
「エヽ〳〵、どうぞ御遠慮なく。時間は充分あります


Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

から大丈夫。それだつて少しも惡い事はありませんけれど、矢張着變へていらしつた方があなたが氣持善く歩けますわね」

母を紹介した時にはモレーの心に言ひ知れぬ誇が湧いた。如何に貧しい境遇に在つたとは言へ、この氣高い母を持つたといふ一つの點に於て丈けは、總ての人に勝つた富者であるとかね〴〵モレーは自分の幸福を感謝して居つた。しとやかなウインフイルド夫人の物腰は少なからずミス、ミラーの心を引いた。夫人は自分の娘の今日の役目を聞いた時、どうぞ公園からの歸途此處に寄つて晝飯を濟ませてとしきりに勸めた。

「どうせ此處を御通り遊ばすのですから、どうぞ御寄り遊ばして。どうぞ」

食事は少し先の料理屋でする樣にとノートには書いてある。然しミス、ミラーは一方ならず老夫人の招待を喜んだ。

「まあ、ほんとうの御家庭で御飯を頂くなんて私にはどれ程嬉しい事かとても御分りにはなりますまいよ幾月も〳〵宿屋の生活ばかりして居る私には、御宅のこの小さい丸いテーブルや、綺麗に研いてある瀬戸物を見た丈けでも御馳走で御座います。」

ウインフイルド夫人が手際の料理で晝飯を濟ませたミス、ミラーは、此の上もなく滿足して居た。そして暇を告げて此の家を出るまでには、若い美しい人とこの靜な夫人とは長い間の交を經たかの樣な睦しさになつて居た。

母と子はこの新來の客に貸間が急に空いて仕舞うた失望をまでを打明けた程、この人に親しんだ。ミスミラーは其の部屋を見度いと言うた。そして空氣のよく通る清潔な部屋を見ながら、彼女は次にこの部屋を借り當てる人はほんとうに仕合だとうらやんだ。

午後の一二時間は大きなデパートメント、ストーアの見物に過ぎた。次にはずつと町外れの美しい紅葉林を訪うた。丁度有名な指揮者の下に音樂隊が演奏の最中だつたので、林での二三時間は一しほの樂しさであつた。それから近所の料理屋へ行つて心地よい夕食を濟



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ませ、美しい公園の景色に名殘を惜しみ乍ら歸途に就いた。

ホテルにミス、ミラーを殘して家路に向つたモレーの心は樂しかつた一日の記憶に躍り立つて居た。會計の方はどうかしらと財布を開けて見れば未だそつくり二圓丈け殘つて居る。夕食はミス、ネヴ井ルが言つたよりも少し高く掛つたが、晝食に何も拂はなかつたので之丈け餘つた譯である。

「之を此儘にして置いてお母樣の贈物を買つたら?」ふつと電光の樣にかういふ考が心に浮んだ。或意味から言つたらこの二圓は當然自分のものなのだ。晝食は自分の家から出て居る、然しこんな思は一瞬間で消えて仕舞うた。「お母樣は御飯を差上げたので決して賣つたのではない。」モレーは我と我が心に斯く詰つて、よし一秒間でも後暗い思を宿した事を非常に恥ぢた。翌朝出勤すると匆々課長室を訪うて机の上に昨夜の殘金を置いたモレーを見た時、ミスネヴ井ルは眉の邊りを心持曇らせ乍ら、

「これはどうしたのですか。私の言つた樣にしなかつたのですか」

「外の事はすつかり致しすしたが御晝飯丈けは、私の宅で差上げました。丁度公園へ行く道に私共の家が御座いますので、一寸着物を着換へに寄りました處が、母が是非宅で御飯を差上げ度いからと申ましたそれにミス、ミラーも大層御喜びになりまして、料理屋で食べるよりほんとうの家の方がいゝと仰いました。それでつまり御晝の分として三圓殘る筈なので御座いますが御夜食が課長樣の仰つたよりも少し高く付きましたので、之丈けになりました。」

「わかりました。それなら之は當然あなたのものですから取つて御置きなさい。」

「それでは困ります。母はミス、ミラーを御客樣として御招き致したので、御金を取らうなどゝは思ひも付かない事で御座いますもの」

「それもよくわかつて居ます。」ミス、ネヴ井ルの聲は非常に優しかつた。



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

「わかつては居ますが、矢張お金は取つて置いて下さい。もう帳面の方にもちやんと十圓と書き入れて計算してしまひましたし、それに此の次のお客樣の案內に當つた人には若しかしてお晝飯に招んで下さるお母樣がないかも知れないでせう。さういふ時には却て面倒が起りますから、矢張り費用は十圓とキッチリ定めて置いた方がいゝのです。之は改めて昨日の御禮としてあなたに上げませう。ミス、ミラーも大變御滿足で實に申分ない案內役だと仰つてほめておゐでゝしたから又其中にお願ひするかも知れませんそれに此の通り正直に計算なさるのだからほんとうに何よりです。それからもう一つお話する事があります。此處で一寸言葉を切つて笑を含んだ目でヂーッとモレーを見つめた。

ミス、ミラーは來週から本社詰めに御成りなのですそれで、何處か綺麗な部屋を貸して吳れる、靜な家を此の間から探していらしつたのですがね、昨日見たあなたの所の部屋が大變氣に入つたが借りる譯には行かないものか、如何間合せて置いて欲しいと仰つて御歸りでした。」

「間合せて置いてとは……」モレーの顏は喜ばしさに輝いた。ミス、ミラーの樣な、上品な、美しい婦人に借す時があらうなどゝは、モレー親子が夢にも望み得なかつた事だ。

「御承知でせうね。そんならミスミラーの方は部屋の事は好都合だつたと言つて置きませう。どうも長く御留めしました。」ミスネヴヰルは早速手許にあつた葉書を取つて、ミス、ミラーに書き初めた。

薄桃色の肩掛を入れた大事な〳〵紙包を持つて家に歸つたモレーの心は何にたとへやうもない喜びに滿ちて居た。新しい「借り手」が出來た事を直ぐ樣母に話し度くて口先まで言葉が出たがやう〳〵の事で呑み込んで仕舞うた。そしてモレーはしきりに我と我が心に言ひ聞かせた。

「明日までがまんして居よう。明日の朝御話しすれば丁度御誕生日の御祝を二つ上げる譯になるからどんなにお喜びなさる事だらう。まあ〳〵もう少しの間だから、明日まで待つて居よう。」



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

## はたらき

# 神戸支部の大活動

### 二錢の小旗は一萬人の兵士を歡ばす

城のぶ子

十一月十七日より二十日迄四日間に渉り、碇泊中の艦隊歡迎は、神戸市基督教青年會と神戸婦人矯風會と協同の下に開催され、各種の演奏は溢るゝ計りの拍手を以て迎へられ、九時より午後三時迄、數十番のプログラムを了りたり。英國聖書會社より寄贈の聖書一冊と、菓子一包は、この日の土産として頒たる。さしもに廣き會館も、勇ましき兵士によりて埋められ、數十名の矯風會員は早朝より詰かけ、款待に心を盡し、滿面に喜びと感謝とを湛へて、主義の爲め甲斐〴〵しく働かる。矢島老會頭も京都より來られ、四日間會を代表して歡迎の意を述べらる。十九日の如き二時兵士一同會館前に整列し、下士の一人總代として謝意を述べられ、終りて北村大佐號令の下に勇敢なる軍歌を唱ひ、撮影して解散。北村大佐感極り、涙に咽びて謝意を述べらるゝに辭出でず、一同又感涙に打伏し、凡て主に榮光を歸し、數千の干城に福音を傳へ、聊かにても慰安と清遊を與ふる事を得たるを心より感謝する次第なり。左に當日のプログラムを掲げ、その概況を傳ふる事とす。

### ―艦隊歡迎會順序―

十七日（水）午前九時半

ダンス　在留外人令嬢

筑前琵琶（橋中佐）　鈴木 旭耕

尺八二部合奏（都山流本曲）
若葉
一部（古林周山、浜越元太郎、西奥種松、白坂長一、高村鋼一郎、朝田周玉）
二部（佐藤周廣、森部周水、鹽谷宗吉、祖父江保、松枯周弘、本居勇）

少年劍舞（菊水流）　藤田南海門人

尺八獨奏（都山流本曲）
青海波　古林 周山

獨唱　青木 兒

唱歌遊戯　頌榮幼稚園生徒

ピアノ連彈　神戸女學院 安福、佐野

獨唱　神戸女學院 秋 元

ピアノ連彈　神戸女學院 長谷川、渡邊、原田

午後

浪花節　吉田奈良英

箏　ミス、カーペ

八雲琴　天津乙女 神代船歌 俗曲六段　野藤 千重 社中 二人

千鳥の曲（箏胡弓合奏）
（胡弓 梅本勾當、箏 梅岐その、和田靜江）

仕舞　（高木 節子、角倉 鈴子、中島 淺子、伊東 鐵雄）

吉備舞藻(楠公墓の曲)　熊内 照江、熊内 初恵
大和琵琶(奉祝歌合奏、常陸丸)　村木峰月 外數名

---

十八日(木)午前九時半
ダンス　在留外人令嬢
筑前琵琶(湖水渡)　鈴木 旭耕
尺八四部合奏(都山流本曲)
朝霧
少年劍舞　森田南海門人
尺八獨奏(五月雨)　古林 周山
獨唱　青木 兒
唱歌遊戯　順榮幼稚園生徒
筑前琵琶(四條畷)　鈴木 旭耕

午後

ABC歌　女學院生徒
合唱　女學院生徒
合奏　女學院生徒
御大典奉祝箏曲
瑞穂の秋(箏尺八合奏)
箏　梅本 匂當、梅枝 その、長谷川春枝、中野 こと、山田 菊枝
尺八　古林周山、森部周水、田村要好、白坂錦秀、後藤周精、梅本眞一
講談　村上 氏

浪花節　吉田奈良英
仕舞　高木 節子、角倉 鈴子、中島 淺子、伊東 藤雄
吉備舞楽(小楠公上 霞上魁)　熊内 照江、熊内あや子
大和琵琶(奉祝歌合奏廣瀨中佐)　村木峰月 外數名

---

十九日(金)午前九時半
ダンス　在留外人令嬢
筑前琵琶(大高源吾)　鈴木 旭耕
尺八三部合奏(都山流本曲)
本曲 霜夜 尺八(三部合奏)
一部　古林 周山、森部 周水
二部　富田 周渓、池田 周岳
三部　仲田 周豐、橋本 周濤
少年劍舞(菊水流)　森田南海門人
獨唱　岡島 政子
尺八獨奏(都山流本曲)
岩清水　古林 周山
獨唱　青木 兒
ピアノ連彈　長谷川、渡邊、原田
二部合唱　長谷川、原田

午後

講談　村上 氏
浪花節　吉田奈良英
八雲琴(安岡曲)　野藤 千重
ヴアイオリン　ミス、ヒユース
松風
箏　渡邊 繁子、高山 節子
尺八　富田 周渓

---

仕舞　高木 節子、角倉 鈴子、中島 淺子、伊東 藤雄
吉備舞楽(小楠公梓弓)　熊内 文子、熊内あや子
大和琵琶(奉祝歌合奏潜水六號艇)　村木峰月 外數名

# 恵まれたる九州部會

守屋東

今年が三年目の九州部會が、十月廿六七日の兩日開かれる通知に接した時に、心から神に祈つたのであつた。三年目、三代目、三度目と凡て物事は此の三といふ處に行先の暗示は明らかに與へらるゝものである。第一回を若松に開いて感謝し、長崎に第二回を開いたのも既に昨年の事になつたのである。

九州部會の生命は只祈より外に道はなかつたのであつた。同志社女學校の青年部主催の少年禁酒軍大會に出席のやむなき爲に、遂に廿四日の最大急行に打ち乘り、鹿兒島に着したのは廿五日の午後九時過ぎであつ


Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

た。九州管理局の鐵道從業員には、禁酒會員總數八千二百六十八名と聞いて感謝せざるを得ない。人命を只其從業者にまかせて、或は眠り、或は語りて風景を走る窓より眺めつゝ、目的地に達し得るは、全くワット氏の發明により、此幸福を得るとは言へ、當事者なる鐵道從業者に心よりの感謝を表すべきものでありませう。猶且九州鐵道の如く禁酒家の大多數なる鐵道に乘車する事は、乘客として此上もなく安心な事で御座います。

車を降り、同じ列車に若松の代員原姉や、長崎の代員の奧、渡邊の姉妹等が乘車されしを知り、久し振りのよろこびを述べ、各定められたる宿に村田會長及び柳原牧師夫人、其他に迎へられて車を走らせました。大阪支部長林うた子姉も今回の部會應援の爲に出張せられしを以て、一しほ賑ふ。

廿七日午前九時より祈禱會を以て開きし會は、實に生命あふるゝもので、自ら感涙にむせぶまで靈感をうけたのであります。引きつゞきて議事の進行、其他は今私は此處に認めない。一貫した靈の導を幾度も繰り返して愛姉方に告げたいのであります。

夜はフインレー姉宅に於て親睦會を催し、お互に打ちとけて語り合ふ。ストーチ博士が、此回陛下に聖書獻上の爲に來朝され、幸鹿兒島市にも來らるゝ由にて遂に部會の講演會に出席し演說さるゝ事を聞き、一同の感謝此上もなし。親睦會後市の會員等は今夜お着のストーチ博士を歡迎の爲に停車場に行かれたる後、代員等數名打ちより心の底より思ふ處をのべ、祈つて此夜はわかれたのでありました。

第二日原姉の司會によつて祈禱會は例の如く開かれましたが、信仰厚き同姉は赤心を以て部會の爲に述べまた今自分が感じつゝある部會の生につきて語られました。殆んど本部大會に於ても嘗て見ざる靈感にうたれ、一同は此上もなき新の確信を得て、今日の議事にうつりました。其結果は別項にある部會の報告で知つて頂きたいと思ます。

あやふく三年といふ年齢を以て、永遠の眠りに入ら



Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

んとせる九州部會は、祈と願とによつて蹶起し、九州全土を動かさんとする決議をさへ可決したのでありました。

代員の歸路、それ〳〵都市を訪問して、支部の新設をうながす事、また近き都市に勸誘する事等は、此上もなく眞面目な動機にてありました。遂に九州部會旅の必要に至り、即座に獻金して七圓十七錢(三十八人此内に來會の新聞記者も加はる)を得、一同感激いたしました。

島原女として海外に出稼する婦女子の取締につきてそれ〳〵當事者に請願する件も心をつくして協議し、可決した次第でありました。

とにかく後にて代員互に語りあふて見れば、支部を出づる時、また迎ふるとき、果して部會は存立せしめおくべきものなるかといふ事にまで相談はうつつた事を告白しあひ、要するに自分等互が盛感にふれず、祈に身を捧げぬ爲に樣々なる誘惑にあふ事を實驗した今日を感謝して、堅き清き決心を以て惠まれたる三年目の部會を石の上に建られたるものとなし得るに至つた事を再三再四感謝するものとなつたのでありました。

福岡に新支部が設立された事は此上もなき惠まれたる部會の賜でありませう。(一一、二五)

## 第三回九州部會記錄

大正四年十月二十六、二十七の兩日、鹿兒島市平之町メソヂスト教會堂にて、第三回九州部會を擧行す。

△祈禱會　第一日午前九時より三十分間の祈禱會を、熊本支部長大島姉司會の下に開く。讃美歌一六七を歌ひ、以賽亞五十三章の朗讀ありて、同姉祈禱を捧げ、引き續き數名熱誠なる祈禱あり、讃美歌を歌ひて閉會。直に總會に移る。

△開會　鹿兒島支部長村田千代の姉議長席に着席、讃美歌を唱ひ、祈禱あり。

▲書記選擧　小川よね子、坂元幸子の二名を推選す。

▲講師紹介　本部守屋東子、大阪支部林歌子の兩講師を紹介せらる。

▲代員紹介　長崎支部島きく子、同渡邊とし子、若松支部原かめ子、熊本支部大島さき子、鹿兒島支部柳原小よし、同野崎じゆん子、同岡村さき子の代員諸姉の紹介あり。

▲第二回九州部會記錄朗讀　長崎支部奥さく子姉、前部會の記錄朗讀あり、滿場一致を以て承認。

▲講師演說　守屋講師起ちて、先づ矢島會頭の御傳言と、其贈物の御披露あり。次に左の件につき事實を明細に報告し、且奨勵を與へらる。

一、御大典記念運動に關する件、及其費用の支出方法につきて。

二、京都に無料接待所設置の件、及其費用分擔につきて。

三、本部事務所新築及其土地に關する件。

林講師は矯風會の事業につきて、信仰的に奨勵を與へられたり。一同非常に感激す。

▲議題提出

一、九州列車に禁煙車を附屬せしむることを九州鐵道管理局に請願する事。(若松支部提出)

二、賜杯受領に就て我矯風會の取るべき方法如何。(若松支部提出)

三、九州に於て支部設置なき都市に支部設立を勸誘すること。

四、公娼全廢に就て九州各支部の取るべき方法如何。

五、來年度に於て九州全般に渉る禁酒運動を爲す事。

六、海外醜業婦(島原女の如き)の取締に就て、支部の運動方法如何。

七、九州部會の目標となすべきものを(例へば旗の如き)製作しては奈何。

八、九州部會を代表して本部大會に必ず一名出席すべきこと、但し其人は部會の報告をなすべき事。(守屋講師提出)

議長は時間を自由に使用せんため、議題提出後の時間を質問會とする事を議場に諮る。滿場異議なく贊成。

▲質問會　柳原牧師は決議文中、公會の席上云々とあるは今回の御大典のみに止るやの質問に對して、守屋講師の答辯あり。其他村田姉は市長訪問等につきての經驗を語られ、大島姉は熊本支部の提出せる請願書を朗讀せらる。

▲御大典記念運動に關する各支部の報告　一若松支部、二熊本支部、三長崎支部、四鹿兒島支部、各支部共それぞれ熱心に、時宜に適せる運動方法を取られつゝあり。

林講師は我會の主張を開橫式に實行し、好結果を擧げられたる堺市實業家の態度につきて話さる。時恰も正午の午砲を聞き、一同萬國協同祈禱を共にして後、再び林師話を續けられ、閉會。

別室に於て一同晝食、樂しき團欒をなす。

△開會　午後一時半開會、讃美歌二六一を歌ひ、野崎姉祈禱。

▲各支部の會務報告　一若松支部、二熊本支部、三長崎支部、四鹿兒島支部、議題順序の變更ありて、議事に入る。

▲議事　一、九州列車に禁煙車を附屬せしむることを九州鐵道管理局に請願する事。

原姉の議題說明あり、村田部會長に一任の事に可決。

二、九州に於て支部設置なき都市に其設立を勸誘すること。

村田部長說明、方法として各自個人の知己に手紙を出す事、及部會を代表して手紙或は訪問をなす事に決定、猶今回の部會閉會後、守屋講師

は福岡に、長崎代見與姉は佐賀に、渡邊姉は佐世保に、遊說さるゝ事に可決、同時に右費用は部會に於て支辨する事、豫定地として決定せる處は福岡、佐世保、久留米、門司、大分、宮崎、加治木、大牟田等なり。

三、祝杯受領に就てわが矯風會の取るべき方法如何。

原姉題案說明あり又本部及各支部の取り來りし方針を說明せられ、根本問題は本部に委任し、受領につきては從前の通りに決議。

四、公娼全廢に就て九州各支部の取るべき方法如何。

林講師は娼妓稼業の同情すべき事より、社會國家に害毒を流すに至る事を述べらる、各自今更の如く其必要を確知し、鋭意努力すべき事の刺擊を與へられ、一同感動す、又廓清講讀の必要を知ると共に、市の各方面に其講讀を勸誘すべく運動することに決議す。

時正に三時半、讃美歌三〇六を歌ひ、小川姉の祈禱ありて閉會、出席者三十一名。

**△少年禁酒軍大會**　同四時より、市立女子尋常高等小學校講堂に於て、少年禁酒軍集會を開く。堀氏司會にて禁酒軍の歌合唱聖書朗讀ありて、祈禱を菅野牧師捧げらる。次に誓約及隊の規則を一同朗讀し禁酒の歌ありて、守屋禁酒軍長登壇、座古愛子姉に御兩親負傷の御見舞狀を出すやう話され、次に禁酒の必要につきて例を擧げ、兒童の興味を喚起せしめ、而して理解を與へられたり。禁酒禁煙及公德を詠めるモンザヤナイの歌を教授され、大隊敬禮の後降壇、副島牧師の祈禱にて閉會來會者二百。

**△歡迎親睦會**　同七時ミスフインレー邸にて、歡迎親睦會を催さる。四十餘名の參集あり、柳原姉の司會にて讃美歌合唱、聖書朗讀の後、後藤姉歡迎の辭を述べられ、林講師の御挨拶あり、守屋講師大正會の趣意書朗讀せらる。柳原牧師の部會につき感話あり、終りて茶菓に入り、清興なかなかにつきざれど、時間の都合あれば八時四十分主の祈を以て閉會し、有志等直に九時十八分到着のストーザ博士出迎ひとして停車場へ向ひたり。

×　×　×　×　×

**△祈禱會**　第二日午前九時より原姉司會にて祈禱會を開く。讃美二四九を歌ひ詩篇廿三篇朗讀、原姉若松支部經營上の苦心談をせられ奬勵あり。敬姉のあつき祈禱ありて讃美歌七八を以て會を閉ぢたり。

**△開會**

**▲前日の部會記錄朗讀**　前日の記錄を坂元姉朗讀なし、一二訂正ありて受入。

**▲議事**　一、次回部會の開催の件。

開會地を熊本市に大島姉の希望を入れ決定す。役員は大島姉を支部長に瀧本師を書記に推薦す。開會に當り各支部準備を怠らざる爲に、二三事項を規定す、守屋講師本部の狀況を話され、大に奬勵せられたり。

二、九州部會を代表して本部大會に必ず一名出席すべき事、但し其人部會の報告をなすべきこと。

守屋講師原案說明、部會報告の必要を覺らせ、確定議となる。尙代表



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

者は部會長出席すべきものとし、若し故障ある場合は支部代員に委任すること。及出席費用は其屬する支部の負擔たるべき事に決定。

三、九州部會の目標となすべきものを(例へば旗の如き)を製作しては奈何。

林講師の説明に満場異議なく、旗製作に可決し、守屋講師の動議に一同賛成し、即時集金をなし七圓十七錢を得たり。作製方を守屋師上洛を幸ひ一任したり。

四海外醜業婦(島原の女如き)取締に就て、支部の運動方法如何。

議案につき村田部長説明。守屋講師は起ちて本問題は今回議事中、最も適切、而して意義ある重要問題にして、本部會は大に盡力すべきものなりとて、之等醜業婦の悲慘なる實例を語り、宜しく右取締に關する請願書を九州各縣廳に提出し、一方彼等産地の郡市町村長及小學校長には度々通信し、覺醒を促すこと、及天草島原地方を根據とせる代議士を説きて、取締問題の提出者となすべき事を絶叫せらる。次いで林講師も亦部會の御大典記念事業として、大に奮闘努力すべく奨勵あり。然して請願書起草委員として各支部代員より一名宛を擧げ、兩講師立會起草の事に可決。

五、來年度に於て九州全般に渉る禁酒運動を爲す事。

村田議長本案は來年度に讓るべき動議をなし、賛成ありて受入。

右の如く議事議定の如く進行し結了を告ぐ。城山の午砲響くを聞き、一同默禱し、後千餘名の祈禱あり、二六一の讃美歌をうたひて閉會、出席者廿九名。別室に集ひて午餐を共にしたり。

**△母の會** 同午後二時半縣教育會々場にて母の會催さる。後藤姉司會にて讃美歌三八三合唱聖書以弗所六章朗讀祈禱ありて、守屋講師登壇、母の感化につき教育と宗教の關聯すべきことを熱辯を振つて説かる。ミスハスボース、ミスフキシレー兩氏の讃美歌合唱ありて、林講師現れ、婦人の天職として母の務につきて話され、多大の感銘を與へらる來會者七十餘、十五名の入會申込ありぬ。

**△公開演説會** 午後七時より鶴鳴館大廣間に公開演説會を開く望月章氏司會の下に、先づ有志の四部合唱あり、林歌子氏婦人矯風會の主張と題して、熱烈なる演説を試みらる。守屋東子氏部會決議文の朗讀をなし、説明あれば急霰の如き拍手を以て、會衆の賛成あり。有志の讃美歌終りて、ストーツ博士酒の害の題下に、酒が人體に及ぼす影響につき、極々熱誠なる講演あり。宮崎牧師も日米問題に關する意見を述べられたり。終りて會衆起立、遠來の博士に敬意を表し、十時過ぎ散會。聽衆四百餘名にて盛會なりき。

黑潮に流るゝこゝ南國の秋色まだ淺けれど、氣澄み心靜かなるの時、而も御大禮の崇嚴を前にして、この會のわが鹿兒島に開かれたるは、いかでか深き御攝理のなかるべき。初めより終りまで聖手に導かれ、計らぬよき實を結ばせ給ひし御恩寵を深く感謝す。又當地最も有力なる鹿兒島新聞記者は、凡ての集會に出席し逐一報道に盡されし爲め一般の耳目を集め得たるは幸ひなりき。



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# 各地通信

## 本部

十一月一日(月)午後二時より事務所にて常置員會を開く、小崎千代子氏の司會にて左の相談ありたり。

△ほり出し物バザーの純益金五十圓の內三十圓は御大典費用に、二十圓は慈愛館の經常費に充つる事。

△本部事務所敷地として赤坂區新町二丁目の土地を買受くる事に決し、すでに賣買登記濟となれり、建築其他につきては一切普賢寺辯護士に依頼す。

△御大典につき十一月六日二十八日の兩日沿道に於て奉送、奉迎の件につき百人許可となれり。

△京都支部接待所の費用にあつる爲め在日本西洋婦人矯風會より金五十圓を送付されしを以て早速東京支部の名義にて金百圓を京都に送る事

△日の丸小國旗を賣る事につきては各支部の自由となす事。

△書記藤井孝氏は都合により毎日出勤し得ざるを以て板倉梅子氏を臨時代理に願ふ事。

右終りて閉會す、出席者は矢島、小崎、杉本スペンサー、根本、松宮、田山、石原、飯田、藤井の諸氏なり。

## 東京麴町

十一月八日午後二時より事務所にて當支部の例會を開く、矢島會長の司會にて讃美祈禱の後、書記及會計の報告は異議なく承認せらる。

去月二十三日靑年會館に開きたる活動寫眞會は委員長川崎まさ子氏始め會員一同の御盡力により豫想外の效果を得たるは只々感謝の外なし、純益金二百二十五圓餘あり、以前に集めたる敷地寄附金と合せて三百圓を本部會計に送る事となせり。

御大典奉祝記念小國旗の賣上純益金を維持費會計の補助となす事に決し、川崎氏の祈禱を以て終る、出席者八名(書記　市橋しづ子)

## 下ノ關

御大典に關する本部活動の旨趣を體して各方面に廓淸の主旨を徹底せしむべく奮闘しつゝあり。十月二十四日午前には當地各教會の禮拜説敎に此の趣意の主張を請ひ、午後には殊にストーヂ博士を請ひて梅光女學院に講演會を開きたり會衆約二百名餘阿部氏司會弘中氏祈禱の後、博士の熱心なる禁酒演説ありて、深刻なる感動を與へたり

御大典奉祝小國旗賣方のため會員歩調を揃へて運動中なり。(書記　黑木ます子)

## 北海道札幌

十月八日辻會長の御宅にて役員會を開き慈善會の爲め種々働きながら相談をなせり、出席者十名。

十月二十一日午後一時半より美以敎會にて傳道課の集りをなし、辻會長の司會にて課長の御話あり、次に會長の有益なる講話あり一同喜びて散會す集會者二十名。(書記　海老澤まさ子)

## 原市

決諍文發表演説會を開かんと欲し、藤岡上毛大會に出張せられたる杉本鉞子女史に安中及當地へ御巡廻を願ひ、六日夜は安中、七日夜當地に演説會を開きたり。(以下次號)





Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

sake of public good, we must crush the system. This limitation was greatly, due to the efforts of the W.C.T.U., and while our hearts ache for the chagrin and humiliation, the terror and the pain of our poor sisters on that wretched day, still we can but have a feeling of elation that we have taken another long step toward our ideal.

---

There is a society called the Kakusei-kwai, which is an outgrowth of the W.C.T.U. We call it the "brother society", as it consists only of men. Mr. Shimada is the President. In order to give assistance to our coronation work, this society sent letters to all the leading men of the nation. These letters contained the "Two Resolutions" of the W. C.T.U., accompanied by a detailed and forceful explanation. Seventy-seven replies were received, all courteous, all encouraging, and some filled with words of highest commendation and sympathy. The writers of these letters represent the brains and the power of the Nation. The group consists of Peers, Scholars, Doctors, Judges,men of note in all departments, and financial kings whose names and ability are known to everybody. These gentlemen have organized a society called Taishokwai. It is named for the present era, and means "Great Righteousness." Its object is the improvement and purification of society in general.

Thus we feel that our agitation in regard to the geisha system, has aroused powerful interest. Our ideal is no longer a monopoly of Christians, but has spread abroad and is attracting the attention of others of our best thinking minds, and of those in positions of power.

---

Madam Yajima, on Coronation Day, received a decoration from the government for her long, untiring service as an educator of girls. For forty years she was President of Joshi Gakuin, the Presbyterian school in Kojimachi, Tokyo.

She was also one of the aged ones who received from the Emperor, a small wooden sake-cup with the royal crysthemum crest.

---

Among many laborious and successful works for the Coronation season, one of especial interest was the entertainment given to 10,000 sailors from the war-ships anchored in Kobe harbor for the Coronation. The ladies of the Kobe Branch were the hostesses, and the proceeds of the sale of flags on Kobe day furnished the means. After a splendid program and the serving of refreshments, Madam Yajima stepped forward and announced that she had a gift for each guest. "The gift I am going to present to you," she said, "is a duplicate in miniature of one which, in the name of the women of Japan, I presented to Her Majesty, just before I left Tokyo. It was a handsomely-bound Bible, which represented hundreds and hundreds of ten sen contributions from women all over the land. These I give to you, are exactly the same, except in size. May each one carry a blessing to each of you!"

The small Bibles were donated by the Kobe Bible Society.



Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

# WOMAN'S HERALD.

(*Fujinshimpo*)

The Coronation ceremonies are over. The exciting strain of the past months is lessened, but our work is far from ended. Indeed, we are all more than ever inspired with enthusiasm for the future. While our aim of keeping geisha girls in the background, during the Coronation, was not wholly realized, still much was done, for we were successful in arousing public sentiment against this long-established, poisoning custom.

Since the Emperor left Kyoto, there has been more freedom, but all the ceremonies were conducted with dignity and decorum. This is the first time in history that the Empress has been represented in any coronation ceremonies, and though Her Majesty was not able to be present in person, still the presence of her throne gave a different aspect to all the ceremonies. She was present in spirit, and the throne was presented with all offerings, exactly as if Her Majesty had been seated therein. This silent influence was felt all over Kyoto, and as no geisha has ever been present where there is even the faintest strain of royal blood, the empty throne seemed to be vaguely recognised as a womanly protection. More women of rank appeared at public functions than has ever been the case before.

In Tokyo, the geisha taking part in public ceremonies was strictly limited by law. In the midst of the fortnight of festivities, only one day was allowed them for their procession, and although all other processions were given permission to go within the palace grounds as far as Nijubashi, the geishas were stopped at the outside gate at Babasaki and forbidden to pass one step withsn the royal enclosure. This was official. The procession could not be stopped altogether, for the trade of the geisha is recognised by the government, but that the sentiment of the people has changed, was shown by the disgraceful conduct of the masses on this occasion. Instead of the "beautiful creature admiring spirit" of the past, there were insults and disorder to an extent never before seen in Tokyo. To go into detail would be shameful, but most certainly the procession was greatly insulted in every possible manner, and the police were helpless to control the laughing, jeering mob.

This in no wise proves an educated moral sense among the masses, but it testifies that the power of these beautiful, decorated creatures is waning. They have lost the place they once so proudly held. One cannot help feeling compassion for these young girls, for most of them know no other life, and have little realization of anything higher; but for the



Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

院長診察月、水、木、金、午前
林、峰間兩副長は目下當院に在勤
麴町區三番町三十番地(市ケ谷見附內)
電、番六二番

# 東洋內科醫院

院長 醫學士 高田畊安

電話ちがさき二番

# 南湖院

相州茅ケ崎海濱(從停車場半里)
河野高橋兩副長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診察後應需



Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（明治四十五年六月廿五日第三種郵便物認可）婦人新報第二百廿一號（大正四年十一月廿八日發行毎月一回發行）

ライオン煉齒磨

旅行には是非共必要！

# ライオン齒磨

ライオン水齒磨

食後寢前には不可缺！

本誌定價一部金六錢

復刻版 婦人新報 第5回配本〔第25〜30巻〕

1985年12月25日 発行

定価 60,000円

発行者 船橋 治

発行所 不二出版㈱
東京都文京区本郷5-28-3
〒113 ☎03(812)4433

印刷所 ワールド印刷

製本所 青木製本

乱丁・落丁はお取り替えいたします。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

UC-NRLF
B 4 212 018

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA